

## プレスリリース

### 中国における人権問題を非難する国会決議の

### 早期成立を求める「声明文」を発表

- 1、本日、中国における人権問題等を非難する国会決議に向けて与野党関係者による協議が行われたとのニュースに接し、当事者であるチベット、ウイグル、南モンゴル、香港などの在日諸団体13団体が結集して、緊急に連絡協議会を設置しました。
- 2、当連絡協議会（インド太平洋人権問題連絡協議会 ※添付資料参照）には、チベットのダライ・ラマ法王日本代表部や日本ウイグル協会、Stand with HK@JPN などをはじめ、日本国内の主要団体が全て結集しています。
- 3、中国の弾圧下にある諸民族が一致結束していることを示し、そろって「中国における人権問題を非難する」国会決議の成立を求めるために、連絡協議会を設置して「国会決議の早期成立を求める」声明文（※添付資料参照）を発表しました。

#### 添付資料

- 1、インド太平洋人権問題連絡協議会について
- 2、「国会決議の早期成立を求める」声明文

### インド太平洋人権問題連絡協議会

【連絡協議会参加団体】<チベット>ダライ・ラマ法王日本代表部、Students for a Free Tibet Japan、在日チベット人コミュニティー <ウイグル>日本ウイグル協会 <南モンゴル>世界モンゴル人連盟、南モンゴル クリルタイ <香港>Stand with HK@JPN、香港の夜明け、香港建国連盟 <中国民主化>民主中国陣線 <民族横断グループ>アジア自由民主連帯協議会、自由インド太平洋連盟 <臓器狩り問題>SMG ネットワーク

#### 【お問い合わせ先】

インド太平洋人権問題連絡協議会

事務局長 石井英俊（自由インド太平洋連盟 副会長）